

作成日：2017年07月11日

改訂日：2018年07月01日

安全データシート（追加情報）

1. 化学品及び会社情報

製品名：日産エコトップP細粒剤F

会社名：日産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋二丁目5番1号

担当部門：農業化学品事業部企画開発部登録グループ

電話番号：03-4463-8310 FAX番号：03-4463-8331

緊急連絡電話番号：農薬中毒事故時の問合せ先 公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (情報提供料：無料)	医療機関専用有料電話 (一件2,000円)
大阪 (365日・24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日・9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

用途及び使用上の制限：農薬（除草剤）、農薬登録内容以外の使用は不可

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート（SDS）

「丸和エコトップP細粒剤F」（丸和バイオケミカル株式会社、改訂日：2016年12月07日）を参照してください。

作成日 2014 年 10 月 17 日

改訂日 2016 年 12 月 07 日

安全データシート

1. 【 化学品及び会社情報 】

製品名	丸和エコトップP 細粒剤F
会社名	丸和バイオケミカル株式会社
住所	東京都千代田区神田須田町二丁目 5 番 2 号
担当部門	開発本部 開発部
電話番号 / FAX	Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323
奨励用途及び使用上の制限	除草剤、農薬登録以外の使用は不可。
整理番号	23378-03

2. 【 危険有害性の要約 】

GHS 分類(分類 JIS)

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分 1
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分 2
	水生環境有害性(長期間)	区分 2

* 記載の無い危険有害性については分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

呼吸器系の障害

長期にわたる、または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋を着用すること。

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

粉じんを吸入しないこと。

取扱い後手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断・手当てを受けること。
 汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断・手当を受けること。
 暴露した場合：医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の診断・手当を受けること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
 都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

3. 【 組成及び成分情報 】

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ジメテナミド P:(S)-2-クロロ-N-(2,4-ジメチル-3-チエニル)-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)アセトアミド
化学式	リニュロン: 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素 ジメテナミド P $C_{12}H_{18}ClNO_2S$ リニュロン $C_9H_{10}Cl_2N_2O_2$

成分及び含有量		化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
＜有効成分＞				
ジメテナミド P	1.0%	—	8-(6)-291	163515-14-8
リニュロン	1.4%	(3)-2193	4-(13)-44	330-55-2
＜その他＞				
鉱物質等	97.6%			
(シリカ)	<92.4%>	—	(1)-548	14808-60-7 112926-00-8 7631-86-9

4. 【 応急措置 】

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 多量の水と石鹼で洗うこと。 医師の診断・手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。 吐かせてもならない。

5. 【 火災時の措置 】

消火剤	霧状水、粉末、泡、二酸化炭素など
使ってはならない消火剤	棒状放水

<p>火災時の措置に関する 特有の危険有害性 特有の消火方法</p>	<p>一酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物、有機ハロゲン化合物が放出する可能性がある。 消火作業は風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。</p>
<p>消火を行う者の保護</p>	<p>消火作業の際は、保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具（自給式呼吸器、耐薬品性保護衣等）を着用するのが望ましい。</p>

6. 【 漏出時の措置 】

<p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p>	<p>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全に退避させる。 作業者は適切な保護具（『8.ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。</p>
<p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>	<p>漏出したものを直ちに掃き取り、空容器に回収する。 大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。</p>
<p>二次災害の防止策</p>	<p>危険でなければ漏れを止める。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>

7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

<p>取扱い</p>	<p>屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。 保護手袋および保護眼鏡を着用する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。 接触、吸入または飲み込まない。 使用済み容器は他の用途には絶対に使用しない。 取扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。</p>
<p>保管</p>	<p>直射日光を避け、小児の手の届かない換気の良い冷暗所に保管する。 施錠して保管する。 食品や飲料から離して保管する。</p>

8. 【 ばく露防止及び保護措置 】

<p>設備対策</p>	<p>取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。</p>
<p>許容濃度</p>	<p>ACGIH 石英(TLV-TWA) 0.025mg/m³</p>
<p>保護具</p>	<p>防じんマスク、適切な呼吸用保護具</p>
<p>呼吸用保護具</p>	<p>保護手袋</p>
<p>手の保護具</p>	<p>保護眼鏡</p>
<p>眼の保護具</p>	<p>長ズボン・長袖の保護服、保護長靴、保護前掛け</p>
<p>皮膚及び身体の保護具</p>	

9. 【 物理的及び化学的性質 】

外観	類白色細粒及び微粒
pH	5.0
融点・凝固点	ジメテナミド P: <-50°C(凝固点) リニュロン: 93-94°C(融点)
引火点	引火せず
比重(密度)	1.44(見掛比重)
水溶解度	ジメテナミド P: 1.449g/L(25°C) リニュロン: 0.0772g/L(25°C)
n-オクタノール/水分配係数	ジメテナミド P: logPow=1.89(24°C) リニュロン: logPow=3.15(25°C、pH7.17)

10. 【 安定性及び反応性 】

化学的安定性	通常の温度及び保管条件では安定
危険有害反応可能性	強酸化剤、フッ化水素と反応する
避けるべき条件	粉じんの拡散
混触危険物質	強酸化剤、フッ化水素
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 【 有害性情報 】

急性毒性(経口)	ラット LD ₅₀ : ♀ >2000mg/kg
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ : ♂ ♀ >2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギ 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギ 軽度の刺激性あり
皮膚感作性	モルモット 中等度の感作性あり
発がん性	本製品は鉱物質微粉として天然の粘土鉱物を含み、その中に区分 1A のシリカを 0.1%以上含むため、区分 1A とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	本製品は鉱物質微粉として天然の粘土鉱物を含み、その中に区分 1(呼吸器系)のシリカを 10%以上含むため、区分 1(呼吸器系)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	本製品は鉱物質微粉として天然の粘土鉱物を含み、その中に区分 1(呼吸器系、腎臓)のシリカを 10%以上含むため、区分 1(呼吸器系、腎臓)とした。

12. 【 環境影響情報 】

生態毒性	
魚類	コイ LC ₅₀ 値(96hr): 368mg/L
甲殻類	オオミジンコ EC ₅₀ 値(48hr): 189mg/L
藻類	緑藻 EC ₅₀ 値(72hr): 1.43mg/L 急性: 藻類の ErC ₅₀ 値より、区分 2 とした。 慢性: 急性区分 2 であり、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分 2 とした。

13. 【 廃棄上の注意 】

内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

14. 【 輸送上の注意 】

国内規制

輸送又は輸送手段に関する
特別の安全対策

船舶安全法、航空法、海洋汚染防止法の規定に従う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確
実にを行う。

輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒
したり、激突させたりしない。

15. 【 適用法令 】

農薬取締法

第 23378 号

労働安全衛生法

第 57 条の 2 通知対象物質

シリカ(政令番号 312)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

リニユロン(第 1 種・174)

毒物及び劇物取締法

該当なし

消防法

該当なし

16. 【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

事故に伴い急性中毒の恐れがある場合

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

	一般市民専用電話 (通話料のみ)	医療機関専用有料電話 (1件につき2000円)
大阪中毒110番 (年中無休、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば中毒 110 番 (年中無休、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。
本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものでは
ありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を
払って下さい。また、注意事項は通常の見取り表を参照して下さい。